

平成23年度 【 学園研究費助成金 】 研究成果報告書

学部名 文化情報学部

フリガナ ハナリ タカシ
氏名 羽成 隆司

研究期間 平成23年度

研究課題名 PCCS12 トーンにたいする色嗜好スタイルの研究

研究組織

	氏名	学部	職位
研究代表者	羽成隆司	文化情報学部	教授
研究分担者			
研究分担者			

1. 本研究開始の背景や目的等 (200字～300字程度で記述)

本課題は、これまで研究代表者らが取り組んできた「色嗜好スタイル」研究を継続するものである。これまでは12の基本色相（色名：白・黒・灰・赤・橙・黄・黄緑・緑・紫・青・茶・ピンク）を対象とした色嗜好スタイルの一般的な特徴を明らかにしてきたが（羽成・高橋，2009），詳細なカテゴリー化についてはまだ課題が残されている。また，トーンを対象とした嗜好データは未だ収集していない。

本課題では，前年度と同一の手続きにもとづいて，同一の回答者にたいして12基本色相（色名）および12トーンを対象とした嗜好データの収集を行い，嗜好スタイルの分析を行うことを主たる目的とする。

2. 研究方法等 (300字程度で記述)

(1)調査対象者：大学生375名(男性142名・女性233名)。(2)手続き：質問紙上で，上述の12色名，および，12トーン（pale, light grayish, grayish, dark grayish, light, soft, dull, dark, bright, strong, deep, vivid）それぞれにおける12色（red, reddish orange, yellowish orange, yellow, yellow green, green, blue green, greenish blue, blue, violet, purple, and red purple.）を呈示し，それぞれの好嫌度をVAS(visual analog scale)で測定した。VASは「好き」と「嫌い」を両端とする線分で，「嫌い」側の端が0，「好き」側の端が100となるよう数値化し，各回答者の第1位色から第12位色までのVAS値を算出した。

3. 研究成果の概要 (600字～800字程度で記述)

12基本色名, 12トーンいずれにおいても, 色嗜好スタイルの指標を算出した. 回答者ごとに12のVAS値の平均, 標準偏差 (好き嫌いのばらつきを示す), 最大値(最好トーンのVAS値), 最小値(最嫌トーンのVAS値), 偏好度(最大値と他の11トーンのVAS値との差の平均. 最好トーンを他のトーンより突出して好む程度を示す), 偏嫌度(最小値と他の11トーンのVAS値との差の平均の絶対値. 最嫌トーンを他のトーンより突出して嫌う程度を示す)を求めた.

12 基本色名のスタイルの特徴は, これまで明らかにしてきた特徴と同様のものが再現された. ただし, 嗜好程度の傾向については, 女性回答者においてこれまでやや異なる傾向 (青より赤が高順位ほか) が見られた.

トーンにたいする全般的な傾向は以下の通りであった. 男性回答者も女性回答者も, **bright** トーンと **vivid** トーンを好み, **grayish** トーンを好んでいなかった. しかし, いくつかの性差も見られた. **light, bright, pale** トーンについては, 女性の方が男性より好んでいる一方, **dark grayish** トーンについては, 男性の方が女性より好んでいた. これらの結果は, 先行研究と概ね類似した傾向と言える.

12 基本色名, 12 トーンそれぞれの色嗜好スタイルの全体的な傾向は類似しており, 個人内のスタイルの一貫性が示された. さらに, トーンにおいて好嫌度の差が大きい群 (特定嗜好型) と小さい群 (全体嗜好型) を比較すると, 前者は **strong, light, vivid, bright** などの派手で明るく強いトーンを, 後者は **dark, grayish, dull, dark_grayish, light_grayish, deep** などの地味で暗く弱いトーンを好むことが明らかになった.

4. キーワード (本研究のキーワードを1以上8以内で記載)

①色嗜好スタイル	②PCCS	③トーン	④基本色名
⑤	⑥	⑦	⑧

5. 研究成果及び今後の展望 (公開した研究成果, 今後の研究成果公開予定・方法等について記載すること. 既に公開したものについては次の通り記載すること. 著書は, 著者名, 書名, 頁数, 発行年月日, 出版社名を記載. 論文は, 著者名, 題名, 掲載誌名, 発行年, 巻・号・頁を記載. 学会発表は発表者名, 発表標題, 学会名, 発表年月日を記載. 著者名, 発表者名が多い場合には主な者を記載し, 他〇名等で省略可. 発表数が多い場合には代表的なもの数件を記載。)

○公開した研究成果

学会発表

羽成隆司・高橋晋也 色嗜好スタイル分類の試み, 日本心理学会第75回大会, 2011年9月15-17日, 日本大学.

○今後の研究成果公開予定

日本色彩学会第43回全国大会 (京都大学), AIC2012 (国際色彩学会, 台北) で, 発表の予定である.